

令和6年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標 めざす生徒像		(1)幅広い教養を身に着け、確かな知識と技能の習得を目指し、真理の探究に積極的な意欲を持つ人間の育成			達成度	A	達成	
		(2)責任感と正義感に富み、規律ある行動のできる人間の育成				B	概ね達成	
		(3)個性の発見と伸長に努め、主体的に進路を決定する能力を持つ人間の育成				C	やや不十分	
		(4)健康で明るく、情操豊かで創造力に富む人間の育成				D	不十分	
具体的目標 重点目標		(1)「千年桜計画」の推進（『環境教育』『公共性教育』『安全教育』の三本柱で、主体的に生き抜く力を育てる） (2)魅力ある総合学科教育に向けた取組 (3)これからを生きる力の習得 (4)心に響く生徒指導の充実 (5)進路指導の更なる充実 (6)地域連携の強化						
自 己 評 価								学校関係者
分野	評価項目	主な取組み・達成状況					達成度	評 価
学 校 運 営	本校の教育環境	○各年次1クラスの少人数であるが、職員全体が協力しながら業務に取り組み、生徒一人一人に目を向けた丁寧な指導にあたった。今年度から「おばなざわ花笠パレード」への全校生徒の参加等、地元の行事への積極的な参加を行い、生徒自らが達成感を持つことができる学校行事や生徒会活動の充実に努め、生徒・保護者の満足度が上がった。 ○地域考究の授業をはじめ、やまがたA I部の活動、豪雨災害ボランティア活動等地域と関わった協働活動を実施することができた。また地元中学校との連携を密にして中高の生徒会交流や、特色ある選択科目に関する出前授業を行うなど、本校の魅力を外部に発信する活動を継続した。					B	A
	本校教員の熱心度						A	
	本校教育への満足度						B	
	地域への貢献度						A	
学 習 指 導	授業のわかりやすさ	○基礎学力向上と学習習慣の定着を目指すとともに、体験活動も取り入れ、総合学科の特色を生かすことができた。生徒用一人一台タブレットや、ICT機器を活用した授業を積極的に行った。また、個に応じた支援が必要な生徒に対する対応等の研修会の開催や、中学校の教員を対象とした公開授業を行った。 ○学校設定科目「考究実践」では、設定したテーマに沿った探究活動を地域自治体等の多大な協力を得て実践した。コミュニティスクールの体制を活用し、地域と協働した探究活動を展開し、地元市・町の行政関係者等の方々を招いた探究活動発表会を成功させた。					B	A
	成績評価の適切度						B	
	学校設定教科「地域考究」における探究学習の充実度						A	
生 活 指 導	規律の順守	○登校時の生徒会執行部のあいさつ運動や、地域の方と協働した登校時の指導等を継続して行った。また、行事等の際の身だしなみ指導において全職員が指導の目線を合わせた一斉指導を行った。 ○いじめや問題行動の未然防止と早期発見のために日頃から丁寧に生徒を観察し、年次と連携をとり情報を共有するように努めた。					B	B
	生活指導の徹底度						B	
	生徒の理解度						B	
進 路 指 導	進路指導の充実度	○各年次の進路ガイダンスや外部講師による講話、2年次インターンシップ事業、1・3年次の地元企業見学会等を行い、生徒が段階的に自己の将来の生き方や職業観を考えることができるよう指導を行った。各種講話や進路別集会、企業見学会等は、行政、企業の地域人材派遣等の協力を得て実施することができた。進路情報や各年次の進路行事を課通信やHPを通じて発信した。 ○総合的な探究の時間の実施方法について各年次と連携を密にし、アイデアを出し合い工夫しながら進めることができた。					B	B
	進路情報の伝達						A	
	進路目標達成度						B	
校 外 活 動 ・ 課 外 活 動 等	生徒会活動、部活動（校外活動等）の充実	○学校行事においては、全生徒が参加し達成感を持つことができるよう、生徒会レクリエーションや3年生を送る会等、生徒自らが発案・工夫した内容を取り入れるなどし、満足度の高い行事を行った。また地域の伝統行事への参加や災害ボランティア等を実施し、生徒主体の活動を行うことができた。 ○部活動の任意加入制導入により、指導体制および顧問配置の見直しを行った。 ○「さくら連絡網」を活用し、学校と保護者が双方向で連絡を取る体制を継続した。また生徒会インスタグラムを頻繁に更新し、生徒の活動の様子を発信し、学校情報の周知に努めた。さらに地元中学校との生徒会交流やハングル体験講座等の特色ある活動を行い、本校の魅力周知にも努めた。 ○PTA活動では、学園祭への参加・街頭指導などを行うとともに、「花のかけはし」植栽活動への参加等、親子地域貢献活動を推進した。 ○生徒の健康管理については、長期休み後の丁寧な健康観察やアンケートを行う等、心身の健康の維持と増進について意識させる取り組みを行った。					B	B
	学校情報の周知度						A	
	P T A活動						A	
	学校保健（生徒の健康管理・清掃衛生活動）						B	
総 括	○地域（尾花沢市・大石田町）と連携した協働活動に力を入れた。学校設定教科「地域考究」、そばガールズの活動、ボランティア活動、A I甲子園への参加、尾花沢まつりへの全校生参加等、地域の方と生徒が協働する活動を行った。地元中学校との連携活動として中高の生徒会交流も継続した。今後も地域との連携を一層深め、生徒の探究活動や自律的・自発的な活動を支援していきたい。 ○学習・生徒会の活動や部活動では少人数だからできることを工夫しながら実施することができた。その中で生徒の個性を活かし、自信につながる指導を心掛けた。保護者とのつながりを一層大切に、全職員で全生徒を育てる学校づくりをさらに推進する。次年度は、学校運営協議会委員のご意見も踏まえ、地域への学校活動のPR強化を引き続き重点として取り組んでいきたい。							